TOSHIBA ロッカー形業務専用アンプ取扱説明書

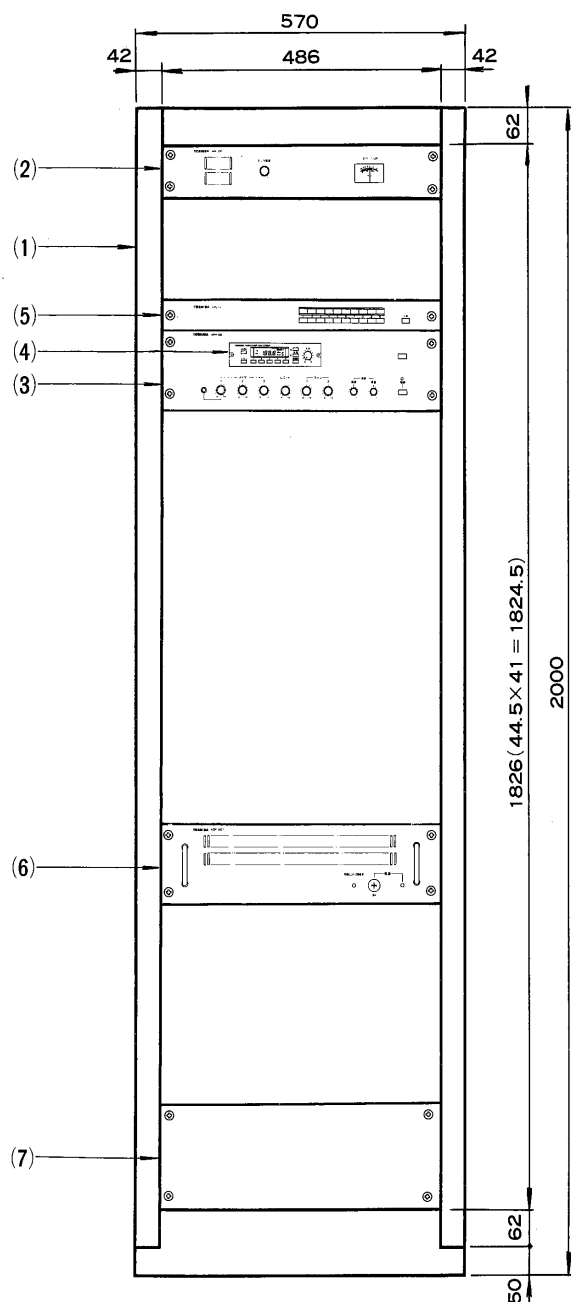
ALM-1500シリーズ　ALM-1501……ミニロッカー形，業務専用
ALM-2000シリーズ　ALM-2001……ロングロッカー形，業務専用

このたびは東芝ロッカー形業務専用アンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのロッカー形業務専用アンプを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

各部のなまえと大きさ

単位：mm

570
42　486　42
62
1826（44.5×41＝1824.5）
2000
62
50

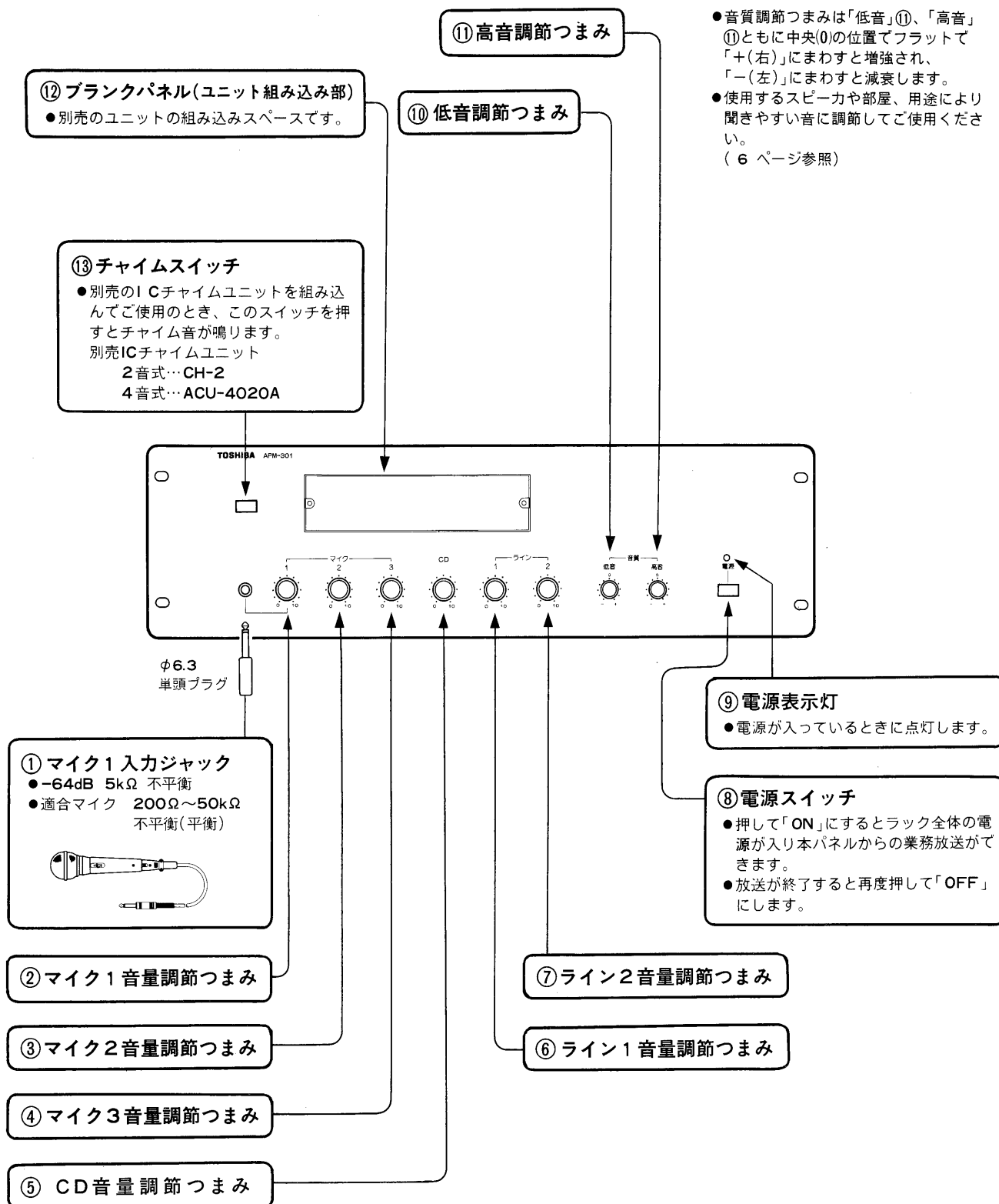
(2)
(1)
(5)
(4)
(3)
(6)
(7)

(1) ラック
(2) モニタパネル　APA-200
(3) 業務操作パネル　APM-301(別売)
(4) ラジオチューナユニット　ARU-2200AF(別売)
(5) 業務用スイッチパネル　APS-110(別売)
(6) 電力増幅器　ADPシリーズ(別売)
(7) ブランクパネル　APB-400
　(出力端子盤　ATB-300
　 増設端子盤　ATZ-100(別売)) を収納

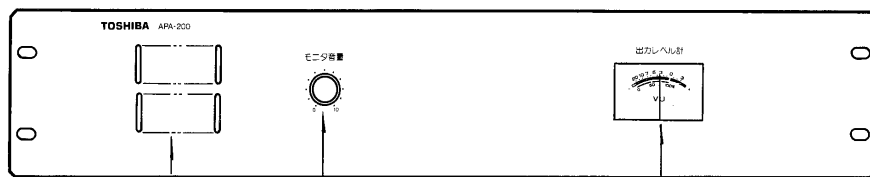
本外観図はロングロッカー形業務専用アンプ(ALM-2001)に業務操作パネル、ラジオチューナユニット、業務用スイッチパネル、電力増幅器を組み込んだ図です。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

収納各パネルの各部のなまえとはたらき

業務操作パネル(APM-301)

(詳しくは業務操作パネルに付属の取扱説明書をご参照ください。)

モニタパネル（APA−200）

（詳しくはモニタパネルに付属の取扱説明書をご参照ください。）

㉛モニタスピーカ

●放送内容をモニタするモニタスピーカが内蔵されています。

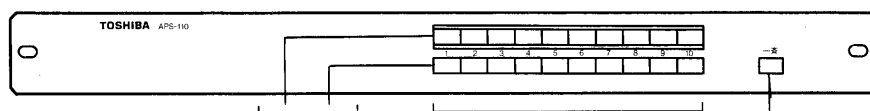
㉜モニタ音量調節器

●モニタスピーカの音量を調節できます。右方向にまわすと音量は大きくなります。

㉝放送出力レベル計（VUメータ）

●放送される音の出力レベルを表示し音の大小に応じて指針がふれます。

●緑色の範囲（OVU以下）でご使用ください。

業務用スイッチパネル（APS−110…10回線用）（APS−120…20回線用）

㊶回線選択スイッチ

●放送したい回線の選択スイッチを押して放送します。

●再度押して解除します。

㊷指名カード、カードホルダー

●回線選択スイッチで選択したとき放送される先を記入しておきます。

㊸一斉放送スイッチ

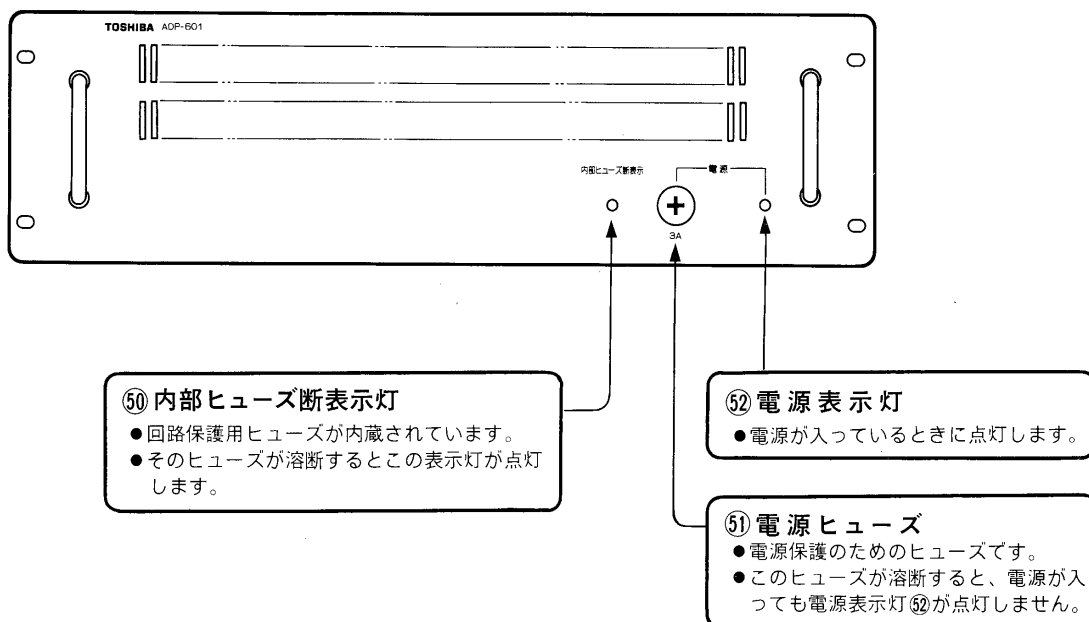
●全回線一斉に放送するときに押します。

●本パネルを２ヶ以上ご使用のときはどのパネルの一斉放送スイッチを押しても全回線一斉に放送できます。

電力増幅器

（詳しくは電力増幅器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

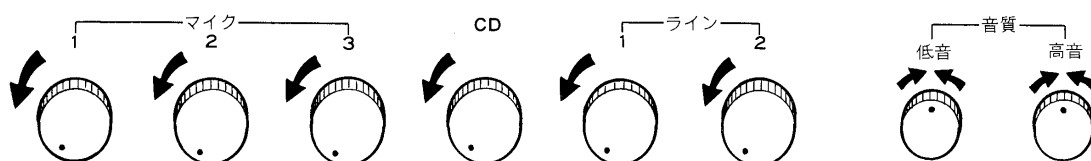
（下図は60W電力増幅器ADP-601の例です。）

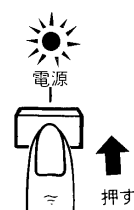
ご注意

- ハウリングをおこしたりスピーカ回線を短絡させたりすると電源ヒューズ51や内部ヒューズが保護のため溶断します。
- これら以外でヒューズが溶断した場合はお近くの販売店か東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

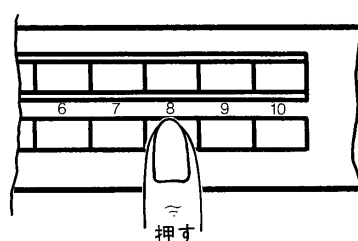
業務放送のしかた

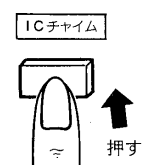
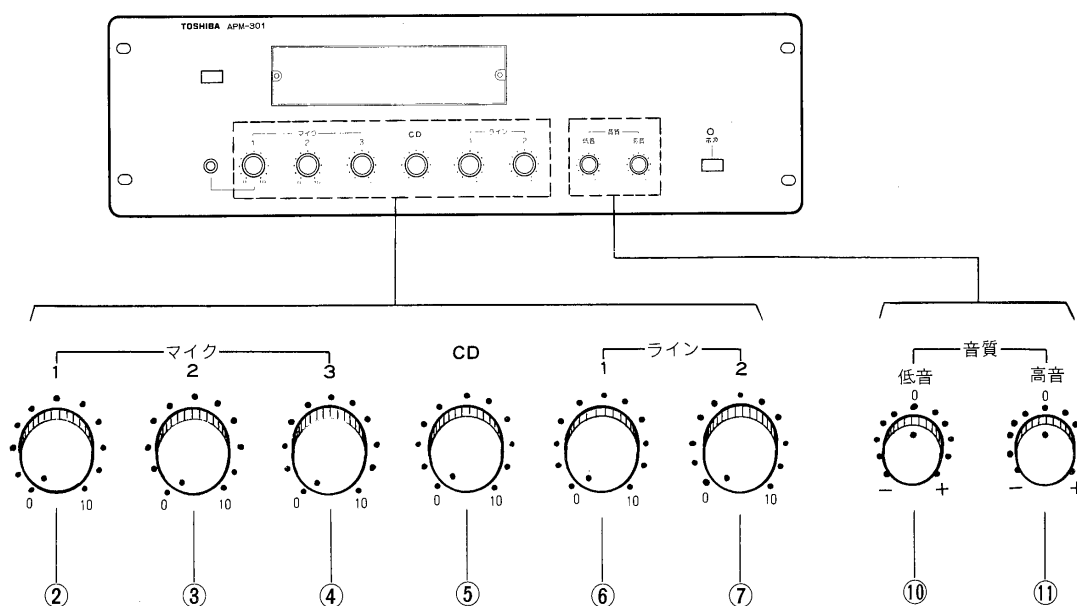
業務操作パネル（APM-301）を使っての放送

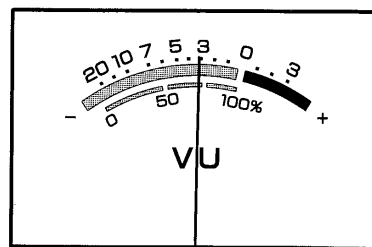
1 電源を入れる前に

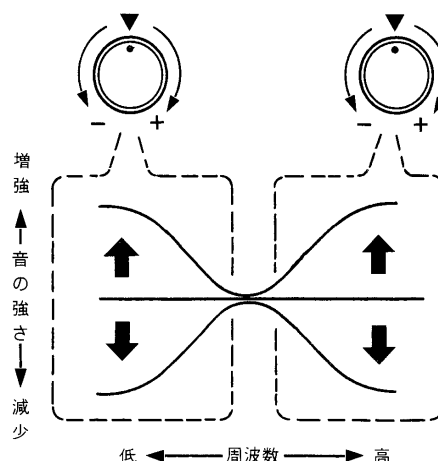
- 業務操作パネル（APM-301）の各音量調節つまみは「左いっぱいに絞った」位置に、音質調節つまみは中央の「０」の位置にセットしてください。

2 業務操作パネル（APM-301）の電源スイッチ⑧を押して「入」にします

- 業務操作パネル（APM-301）の電源が入り電源表示灯⑨が点灯します。
- 電力増幅器の電源も同時に入り電源表示灯52が点灯します。

③放送したい場所を選択します

● 放送したい回線の回線選択スイッチ㊶を押して「入」にします。
● 全回線一斉に放送したい場合は一斉放送スイッチ㊸を押して「入」にします。
業務用スイッチパネルを2ケ以上実装してご使用の場合は、どのパネルの一斉放送スイッチを押しても一斉に放送できます。

④チャイムユニット(別売)を組み込んでご使用の場合

● 業務操作パネル(APM-301)のチャイムスイッチ⑬を押すと、チャイム音が選択された回線に放送されます。
放送前の予告音として使用できます。

⑤各音量調節つまみ②～⑦をまわして各入力の音量を調節します

〔適切な音量で放送するために〕

- モニタパネル(APA-200)の放送出力レベル計㉝が放送出力に応じてふれ、モニタスピーカ㉛で放送内容がモニタできます。放送出力レベル計が緑色の範囲内で振れ、音がひずまないように音量を調節してご使用ください。アナウンス用は大きめに、BGM用は小さめに音量を設定されるのをおすすめします。

6 音質調節つまみ⑩、⑪の使いかた

- 音質調節つまみは「低音」⑩、「高音」⑪ともに「0」(中央)の位置でフラットで「＋(右)」にまわすと増強され「－(左)」にまわすと減衰します。
- 次の(1)(2)(3)のように使用するスピーカや部屋、用途に応じて聞きやすい音に調節してご使用ください。
  (1) キンキンした音で耳ざわりなときは高音を減衰させ低音をやや増強させると聞きやすくなります。
  (2) 低音がもごついてはっきり聞きとりにくいときは低音を減少させ高音をやや増強させると聞きやすくなります。
  (3) 音楽をお聞きになるときは低音、高音ともやや増強させると迫力のある音になります。

7 放送が終了したら……

- 各音量調節つまみ②～⑦を左方向にまわして音量を絞ります。
- 押して「入」にした回線選択スイッチ㊶、あるいは一斉放送スイッチ㊸を再度押して「切」にします。選択していた回線が解除されます。
- 業務操作パネル(APM-301)の電源スイッチ⑧を再度押して「切」にします。電源表示灯⑨が消えスタンバイ状態にもどります。

業務リモコン、時報チャイム等の外部機器からの放送

1 外部機器からの起動がかかったら……

- 業務リモコン、時報チャイム等の外部機器からの起動がかかると業務操作パネルおよび電力増幅器の電源が入り電源表示灯⑨、52が点灯し、選択された回線に放送が流れます。
- 放送内容はモニタパネル(APA-200)の放送出力レベル計㉝、モニタスピーカ㉛でモニタできます。

2 外部機器からの放送が終了し、起動が解除したら……

- 業務操作パネルおよび電力増幅器の電源は切れ、電源表示灯⑨、52は消えてスタンバイ状態にもどります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチ⑧を「切」にし、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。ご相談される前にいま一度下表の項目を点検してください。

症状		点検項目	処置
電源が入らない 電源表示灯が点灯しない	すべてのパネルの電源が入らない	主電源(AC 100V)供給元のブレーカが作動していませんか	ブレーカを「入」にする
音が全く出ない	電力増幅器の電源表示灯(52)が消えている	電源ヒューズ(51)が溶断していませんか	規定の▽マークの新しいヒューズと交換します
	電力増幅器の内部ヒューズ断表示㊿が点灯している	電力増幅器内部にある保護ヒューズが溶断しています。このヒューズが溶断するのはスピーカラインが短絡、地絡したりすると溶断します。このようなことがありませんでしたか？	スピーカラインの短絡、地絡箇所をなおし、電力増幅器内部のヒューズを新しいヒューズと交換します　（注）
		音量調節つまみ②～⑦が〝0″の位置になっていませんか	音量調節つまみを右方向にまわし適正な音量となるよう調節します
		スピーカのアッテネータが〝OFF″の位置になっていませんか	スピーカアッテネータを1.2.3のいずれかの適正な位置にセットします
音が時々途切れる	特定の入力機器(マイクロホンなど)の放送が時々途切れる	その入力機器の接続コードが断線しかかっていませんか	接続コードの交換、手直しをしまします
		音量調節つまみ②～⑦をまわすと途切れたり正常に復帰したりしませんか	音量調節器を新しい音量調節器と交換します　（注）
	すべての放送が時々途切れる	途切れたとき放送出力レベル計が振りきれていませんか	発振しています。 発振の原因を取り除きます　（注）

（注）これらの原因調査や交換はお買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご依頼ください。

東芝ライテック株式会社 システム事業部　〒140　東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL (03) 5463－8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。